

令和3年度・市社協の事業計画と予算のあらまし

令和3年度は、5ヵ年計画である「第6次大和市社協地域福祉活動計画」の3年目であり、引き続き計画に基づく事業の着実な遂行と計画の進行管理を進めていきます。

福祉課題が重度化・複合化するなか、最近是不登校や引きこもり状態にある若者の居場所についての相談や問い合わせが増えてきており、そうした人たちの支援に向けた実態把握のため、関係者との情報交換を行っていきます。

また、福祉人材の養成については、昨年度取り組んだ「福祉の魅力を伝えるプロジェクト」並びに「学校内福祉教育事業のプログラムの開発」を発展させ、福祉の魅力を伝えるための取り組みと人材養成事業との連動を視野に入れながら、新たな福祉教育メニューを取り入れた事業を行っていきます。

権利擁護事業に関しては、第2期市民後見人養成講座を神奈川県社会福祉協議会並びに大和市とともに実施します。講座修了者のうち後見人候補者としてバンク登録をした方を対象に、市民後見人受任前後の支援とフォローアップを行うとともに、後見受任団体や専門職、相談機関等により実際の受任案件についての検討や市民後見人の活動支援等を行っていきます。

さらに、自立相談窓口と既存の事業との相談窓口を統合することにより、一体的に相談対応を行う総合相談機能の整備を図っていきます。

拠点区分別当初予算（支出）

（単位：千円）

拠点区分	予算額
法人運営事業	164,490
共同基金配分事業	8,987
企画広報啓発事業	22,313
ボランティア活動事業	7,782
地域援護事業	17,817
あんしんセンター事業	8,743
在宅援護委託事業	25,911
指定管理事業	132,922
社会福祉事業区分合計	388,965
当期末支払資金残高	29,730
総合計	418,695

*収益事業区分予算：9,826千円
（主に飲料自販機の設置による手数料収入）

新規・充実事業の概要

事業名	事業区分		概算費用 （単位：千円）
	新規	充実	
ボランティア活動事業			7,782
福祉の魅力を伝えるための人材育成		○	991
不登校・引きこもりの若者の居場所について、関係者との情報交換会の開催	○		
地域援護事業			17,817
生活支援事業及び権利擁護事業の窓口一本化による総合相談体制の整備		○	12,675
あんしんセンター事業			8,743
市民後見人養成・活動支援事業及びネットワーク会議の開催		○	1,704